

平成24年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年6月13日

上場会社名 サイボウズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4776 URL <http://www.cybozu.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)西端 慶久
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長 (氏名)山田 理 TEL (03)5805-9035
 四半期報告書提出予定日 平成23年6月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年1月期第1四半期の連結業績(平成23年2月1日～平成23年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年1月期第1四半期	1,133	△27.3	290	△43.3	295	△42.6	223	△23.5
23年1月期第1四半期	1,559	△30.9	512	235.6	514	237.4	292	277.4

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年1月期第1四半期	423	92	—	—
23年1月期第1四半期	554	71	554	63

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
24年1月期第1四半期	6,063		5,020		82.8		9,515 74	
23年1月期	6,297		5,055		79.8		9,529 36	

(参考) 自己資本 24年1月期第1四半期 5,020百万円 23年1月期 5,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
23年1月期	—	—	0	00	—	—	478	00	478	00
24年1月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24年1月期(予想)	—	—	0	00	—	—	304	00	304	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年1月期の連結業績予想(平成23年2月1日～平成24年1月31日)

(%表示は、同期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	2,200	△21.9	250	△65.4	260	△64.2	210	△26.1	398	05
通期	4,380	△17.5	450	△41.6	470	△41.2	320	△18.5	606	55

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は添付資料P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有

除外 1社（ユミルリンク株式会社）

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 有

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年1月期1Q	527,578株	23年1月期	527,578株
② 期末自己株式数	24年1月期1Q	一株	23年1月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年1月期1Q	527,578株	23年1月期1Q	527,184株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）の3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、一時景気に持ち直し傾向の動きが見られたものの、2011年3月11日に発生した東日本大震災が国内経済に与える影響は甚大であり、情報サービス産業についても先行きが不透明な状況となっております。

一方、震災の影響を受け、在宅勤務制度の導入について各企業の注目が高まっていることと認識しております。当社におきましても2011年4月より在宅勤務制度を正式に導入し、自社での事例をもってお客様の導入についてご提案・ご相談を賜れるよう運営しております。

また、当社グループは引き続き、クラウド/SaaS型サービスの拡充、海外市場顧客の獲得に注力しております。

クラウド/SaaS型サービスの拡充の一環として、無料で使えるクラウド型コラボレーションツールとして提供を開始していた「サイボウズLive」のユーザー数が、2011年4月12日に10万人を突破いたしました。また、複数のプロジェクトメンバーとの共同作業やディスカッションを大幅に効率化する機能を新たに追加し、今後の有料サービス開始に向け、より便利により多くの方にご利用いただけるよう改善を続けております。最近では、NPOでの活用事例も多数寄せられるようになりました。先の震災を受け、被災者とホームステイ受入家庭とをつなぐ「HOPEATAY」プログラム等でもご利用いただいております。

また、ファストなビジネスアプリケーションの構築を可能にする新クラウドサービス「kintone（キントーン）」を、2011年秋に発売開始することを発表いたしました。手頃な価格での高品質なアプリケーション開発と、これまでにない速さ（最短10分）での運用開始を実現すべく、鋭意開発を進めております。

このような状況下において、当第1四半期連結会計期間の連結業績については、連結子会社の減少等により連結売上高は前年同期に比べて減少し1,133百万円（前年同期比△27.3%）となりました。営業利益についても、連結子会社の売却によるのれん償却額の減少があったものの、売上高が前年同期に比べ減少したことから290百万円（前年同期比△43.3%）、経常利益295百万円（前年同期比△42.6%）、四半期純利益は223百万円（前年同期比△23.5%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間において、ユミルリンク株式会社が連結子会社でなくなったこと等により、資産の部は前連結会計年度末に比べ234百万円減少し、6,063百万円となりました。

負債の部についても、ユミルリンク株式会社が連結子会社でなくなったことにより借入金や社債が減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ198百万円減少し、1,043百万円となりました。

また、当第1四半期連結会計期間末の純資産の部については、5,020百万円となり、自己資本比率は82.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末より740百万円増加し、2,667百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結期間における営業活動による資金収支は、360百万円の収入（前年同期比79百万円の収入減）となりました。これは主に、連結子会社であったユミルリンク株式会社の株式を売却したことによる売却益を計上したこと等によりものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における投資活動による資金収支は、538百万円の収入（前年同期比912百万円の収入増）となりました。これは主に、連結子会社であったユミルリンク株式会社の株式の売却による収入があったことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における財務活動による資金収支は、191百万円の支出（前年同期比105百万円の支出増）となりました。これは主に、配当金の支払額が増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年1月期の連結業績予想につきましては、平成23年3月16日公表の平成23年1月期決算短信から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（除外） ユミルリンク株式会社

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社であったユミルリンク株式会社は当社が保有する株式を全て売却したため、連結子会社ではなくなりました。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して、一般債権の貸倒見積高を算定しております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続・表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ847千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による敷金の変動額は18,734千円であります。

②表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,667,207	2,094,962
受取手形及び売掛金	664,247	696,400
有価証券	1,500,000	2,000,000
たな卸資産	11,289	19,810
繰延税金資産	25,191	57,608
その他	81,453	77,789
貸倒引当金	△1,077	△1,503
流動資産合計	4,948,312	4,945,068
固定資産		
有形固定資産	244,148	222,214
無形固定資産		
のれん	12,961	56,974
ソフトウェア	44,174	79,134
その他	42,172	12,654
無形固定資産合計	99,308	148,763
投資その他の資産		
投資有価証券	481,092	506,968
繰延税金資産	93,195	223,779
その他	200,889	254,297
貸倒引当金	△3,619	△3,691
投資その他の資産合計	771,558	981,354
固定資産合計	1,115,015	1,352,332
資産合計	6,063,327	6,297,400
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,454	29,255
1年内返済予定の長期借入金	—	27,182
1年内償還予定の社債	—	20,000
未払法人税等	42,991	135,815
役員賞与引当金	—	9,000
その他	984,588	947,292
流動負債合計	1,043,034	1,168,545
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	—	59,130
その他	—	4,174
固定負債合計	—	73,304
負債合計	1,043,034	1,241,849

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	613,810	613,810
資本剰余金	976,765	976,765
利益剰余金	3,448,077	3,445,777
株主資本合計	5,038,653	5,036,353
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△19	△552
為替換算調整勘定	△18,341	△8,321
評価・換算差額等合計	△18,360	△8,874
少数株主持分	—	28,071
純資産合計	5,020,293	5,055,550
負債純資産合計	6,063,327	6,297,400

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年4月30日)
売上高	1,559,224	1,133,394
売上原価	215,316	95,155
売上総利益	1,343,907	1,038,238
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	283,757	242,414
業務委託費	37,869	37,883
貸倒引当金繰入額	373	43
のれん償却額	47,265	10,630
その他	461,811	456,602
販売費及び一般管理費合計	831,078	747,573
営業利益	512,829	290,664
営業外収益		
受取利息	891	2,266
持分法による投資利益	1,922	—
受取手数料	667	907
その他	1,582	1,416
営業外収益合計	5,064	4,590
営業外費用		
支払利息	2,817	—
その他	594	1
営業外費用合計	3,411	1
経常利益	514,481	295,253
特別利益		
貸倒引当金戻入額	50	—
関係会社株式売却益	—	160,488
特別利益合計	50	160,488
特別損失		
固定資産除売却損	777	225
事務所移転費用	138	3,123
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	18,734
減損損失	—	10,800
特別損失合計	915	32,884
税金等調整前四半期純利益	513,616	422,858
法人税、住民税及び事業税	199,304	39,008
法人税等調整額	21,374	160,196
法人税等合計	220,679	199,205
少数株主損益調整前四半期純利益	—	223,653
少数株主利益	503	—
四半期純利益	292,432	223,653

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年2月1日 至 平成22年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	513,616	422,858
減価償却費	39,182	59,096
減損損失	—	10,800
のれん償却額	47,265	10,630
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	18,734
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△160,488
持分法による投資損益(△は益)	△1,922	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	266	△181
受取利息及び受取配当金	△891	△2,266
支払利息及び社債利息	2,817	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,171	—
投資損失引当金の増減額(△は減少)	△41,461	—
売上債権の増減額(△は増加)	△126,196	△46,309
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,676	△135
仕入債務の増減額(△は減少)	3,335	6,345
未払金の増減額(△は減少)	1,212	△42,482
前受金の増減額(△は減少)	61,746	27,785
その他	△30,867	162,277
小計	469,598	466,664
利息及び配当金の受取額	1,058	2,266
利息の支払額	△1,581	—
法人税等の支払額	△29,107	△114,023
法人税等の還付額	—	5,604
営業活動によるキャッシュ・フロー	439,968	360,511
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△1,500,000
有価証券の売却による収入	—	2,000,000
有形固定資産の取得による支出	△18,055	△51,050
無形固定資産の取得による支出	△45,162	△43,782
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	136,743
貸付金の回収による収入	30,758	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△4,432
敷金及び保証金の回収による収入	—	1,311
その他	3	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,455	538,790

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年2月1日 至 平成22年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△27,346	—
長期借入金の返済による支出	△15,412	—
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△54,291	△191,284
株式の発行による収入	14,016	—
その他	7,164	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85,868	△191,284
現金及び現金同等物に係る換算差額	755	△603
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	322,399	707,413
現金及び現金同等物の期首残高	3,048,770	1,926,962
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	25,015	32,830
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,396,186	2,667,207

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年2月1日 至 平成22年4月30日）

(千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
前連結会計年度末残高	606,802	969,757	2,512,408	4,088,968
当第1四半期連結会計期間末までの変動額				
剰余金の配当			△54,291	△54,291
四半期純利益			292,432	292,432
新株の発行 ※1	7,008	7,008		14,016
連結範囲の変動 ※2			14,807	14,807
当第1四半期連結会計期間末までの変動額合計	7,008	7,008	252,949	266,965
当第1四半期連結会計期間末残高	613,810	976,765	2,765,358	4,355,934

※1 当第1四半期連結会計期間に新株予約権(96個)について権利行使がありました。

※2 当第1四半期連結会計期間より、非連結子会社でありました才望子信息技术(上海)有限公司につきまして、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年2月1日 至 平成23年4月30日）

該当事項はありません。